

蔵玉隧道・拡幅工事〔県単道路改良(幹線)工事〕

日建連表彰土木賞 特別賞を受賞したプロジェクトの移動式プロテクター製作に北陸鋼産が携わりました。



所在地	千葉県君津市蔵玉地内
施設管理者	千葉県
設計者	サンコーコンサルタント株式会社
施工者	飛島・伊藤特定建設工事共同企業体
関係者	国道465号バイパス期成同盟会
着工年月	2020年12月23日
竣工年月	2023年3月24日

「道路使用の安全と周辺住民の生活環境に配慮したトンネル活線拡幅の施工」

プロジェクト概要

1953年に矢板工法により建設された蔵玉隧道(全長:145m)において、一般車の通行を許容したまま既設トンネルを拡幅する活線拡幅施工を実施した。一般車をプロテクターで防護するため、2基のプロテクターを順次設置しながら、施工上の制約を考慮した施工機械の選定、一般車の通行への影響を最小限とするために夜間のみ交通規制でプロテクターを移動すること、終点側坑口付近に民家が近接することから周辺住民の生活環境に配慮した施工方法の選定と安全な施工が求められた。

受賞理由

交通を確保したまま拡幅する必要があるうえ、狭隘空間かつ周辺環境への配慮が求められるという厳しい条件下での施工が課題であった。これに対し、鋼製プロテクターを用いた段階的な活線拡幅工法や、狭い作業空間に対応可能なエレクター付き吹付け機の採用、遮音対策を施した施工計画を導入した。本工事は、迂回路のない重要路線において安全かつ円滑な交通を確保しながら拡幅を完遂した先進的な取組であり、日建連表彰土木賞特別賞に値するものと認められた。



プロテクター設置状況(坑内)



起点側坑内前景

